

ブックちゃんの

2022年10月1日発行

ふじのみや探検



第38号 芝川地域のおまつりのひみつ

発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284



「信長公黄葉まつりでの火縄銃演武」

芝川地域は、^{うつぶさ}内房、^{しばとみ}芝富、^{ゆの}柚野、^{いなこ}稲子の地区から成り立っており、それぞれの地区で特色のあるおまつりが行われています。各地区では、主にどんなおまつりが行われているか、そのひみつを^{さぐ}探ってみましょう。



©富士宮市さくやちゃん

ひみつ1 どんなおまつりがあるの？

おまつりは、多くの場合、^{ごこくほうじょう}五穀豊穰を願って、あるいは、秋の収穫の喜びを祝って、神社や寺院で行われてきました。人々が住む地域を守る^{うじがみさま}氏神様を祀って祝うお祭りもあり、富士山本宮浅間大社の^{しんしよく}神職に祝詞をあげてもらい、^{のりと}鯛や^{たい}野菜、^{こんぶ}昆布などをお供えする風習が残っている地区があります。また、今ではあまり見られなくなりましたが、「お日待」といって、^{ひまち}地域の人が集まり、飲食を共にして秋の収穫を祝うお祭りもあります。子供たちは、「おぼっこ（おぶっこ）」とよばれる赤飯を喜んでもらいました。

^{うつぶさ}内房地区では「^{ぼしやうてんじんぐうれいたいさい}芭蕉天神宮例大祭」「内房たけのこ・桜まつり」、^{のぶながこうこうよう}芝富地区では、「信長公黄葉まつり」、柚野地区では、「柚野の里 縄文まつり」、稲子地区では、「梅の里 稲子まつり」が行われています。「内房たけのこ・桜まつり」「梅の里 稲子まつり」は、※**地域おこし**の一環として、地域の人たちが実行委員会などを組織して、誕生したものです。歴史的なできごとを踏まえて行われているのが「芭蕉天神（宮例大）祭」「信長公黄葉まつり」「柚野の里 縄文まつり」です。

※**地域おこし**（街おこし）とは、そこに住んでいる人たちが地域を盛り上げ、観光客に特産品を販売して収入増を図ったり、人々の意欲を向上させたり、人口の維持や増加を図ったりするために行ういろいろな活動のこと。

その1 「芭蕉天神宮例大祭」



『岳南朝日新聞』 令和3年（2021年）3月7日

「芭蕉天神宮例大祭」が行われる「芭蕉天神宮」は、
 内房の^{おおづもり}大晦日という所にあります。^{けんむがんねん}建武元年（1334年）
 9月、^{ごだいごてんのう}後醍醐天皇の使者として^{おもむ}赴いた富士山本宮浅間大
 社から帰る途中、^{せんつう}疝通（突然起きる内臓の痛みのこと）
 がもとで亡くなった^{こがだいなごん}久我大納言と学問の神様として有名
 な^{すがわらのみちざね}菅原道真公を祀っています。当初、芭蕉天神宮は

『^{ぼじょうてんじん}馬上天神』と呼ばれていました。江戸時代に、^{けいだい}境内に疝痛
 によく効く「バショウ」という植物が生い茂っていたことか

ら「芭蕉天神」と改められました。

昭和46年（1971年）10月29日、久我家では、^{ほうのう}鏡を奉納して盛大なお祭りを行いました。お祭りは、
 平成31年（2019年）より毎年3月に行われ、受験生を始め多くの人が^{がくぎょうじょうじゆ}学業成就・^{しそん}家内安全・子孫
^{はんえい}繁栄などを願い、訪れています。近くには、久我大納言が疝痛で発作を起
 こし、馬からおろされ、横たえられた石と言われる「久我大納言石」があ
 り、石をまたいで通るとばちがあたり、両手を合わせてお参りすれば
^{ごりやく}御利益があるとされています。芭蕉天神宮とあわせて、お参りしてみ
 てください。



その2 「内房たけのこ・桜まつり」



内房のたけのこは、柔らかく、えぐみが少なく、さしみでも食べられると以前
 から評判で、高級食材として、東京などの首都圏にも出荷されていました。

平成7年（1995年）、この内房特産のたけのこを広くPRするのを目的として、
 内房農林産物直売組合により、「たけのこ祭り」が、始められました。平成14
 年（2002年）、内房たけのこまつり実行委員会は、内房をたけのこの里として、
 地域内外に広くPRしていこうとおまつりの規模を大きくしました。さらに、平
 成23年（2011年）、^{いなせがわぞ}稲瀬川沿いに会場を5カ所設けて、植えられた約400本

の桜と菜の花を^め愛でながら、多くの人に集まって楽し
 んでもらえる「内房たけのこ・桜まつり」が始まりました。おまつりでは、毎年、売り切れてしまうほど人
 気の朝収穫したたけのこや、ゆでたたけのこ、たけの
 こご飯の販売のほかに、太鼓の演奏、内房小学校児童
 によるステージ発表などが行われます。



「信長公黄葉まつり」



「信長公黄葉まつり」は、毎年11月、芝富地区の西山にある「西山本門寺」で行われています。お寺の境内には、織田信長の「首塚」があり、信長の首が埋葬されているという伝説に由来したおまつりで、平成23年（2011年）から始まりました。

信長公の供養をした後、手作りのかっちゅうを着た、地元の小中学生によるかっちゅう隊、なぎなた隊が加わる武者行列や、ごう音をとどろかせ、迫力がある火縄銃の空砲演武、奉納踊り、茶会、和太鼓の演奏、刀鍛冶の実演など



が行われます。また、参道にはご当地グルメが味わえる「楽市楽食」や「信長夢の食街道」が設けられます。

このおまつりでの火縄銃の空砲演武を、中学2年生の時に見て以来、火縄銃の演武への憧れが募り、かっちゅうや刀剣などの歴史や伝統を学びながら、ついには火縄銃射撃競技選手になった、地元出身の人もいます。

「武者行列の様子」

まめ知識

信長ゆかりの地で行われている、次のような信長まつりがあります。

ぎふ信長まつり（岐阜市）

「岐阜」と名付けたと言われているのが信長。居所とした岐阜城の跡もあります。おまつりは、毎年10月に行われてきました。有名なのが「信長公騎馬武者行列」。馬に乗った信長や義父の斎藤道三、信長の妹のお市の方、火縄銃鉄砲隊などが行列します。衣装などがきらびやかで時代絵巻のような行列です。「音楽隊パレード」や「市民勝手カーニバル」と称した市民参加型の踊りも披露されます。令和4年（2022年）は、66回目を11月に実施される予定です。岐阜市出身の俳優・伊藤英明さんが信長に扮したこともあります。

あづち信長まつり（近江八幡市）

信長の居城であった安土城の跡がある近江八幡市で行われています。令和3年度（2021年度）は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、武者行列のみが行われました。武者行列では、織田信長隊21人、羽柴秀吉隊22人、徳川家康隊19人など、総勢87人がパレードしました。信長を襲った明智光秀に扮した人も参加しています。

ひみつ4 柚野地区と稲子地区のおまつりは、どんなおまつりなの？

柚野地区のおまつり 「柚野の里 縄文まつり」



平成13年(2001年)11月から平成14年(2002年)3月にかけての発掘調査により、^{はつくつ}柚野の大鹿窪で、今から約1万3千年前の縄文時代のもっとも古い時期の住居・集落跡(大鹿窪遺跡)が確認されました。集落近くには



「おまつりの時の縄文人の住居」

深い溝の跡があり、川の水を利用していたと考えられているの

をはじめ、富士山方向に向けて、挿んだと思われる石の積み重ねられた跡がありました。平成20年(2008年)には、大変貴重な遺跡ということで、国指定の史跡となりました。平成27年(2015年)11月、この大鹿窪遺跡をPRするために始まったのが、「柚野の里 縄文まつり」です。縄文人の生活をイメージできるように、火おこしや土器・石器づくり、鹿皮アクセサリー作り、弓矢などの体験ができます。「富士山縄文の里大鹿館」がメイン会場となっています。

稲子地区のおまつり 「稲子の里 梅まつり」



平成7年(1995年)3月、第一回「梅まつり」が始まりました。稲子には、およそ300本の梅の木があり、梅の栽培が盛んで、それをPRするためです。現在は、毎年6月に開かれ、新稲子川温泉ユー・トリオを会場として、稲子の里スタンプラリーや稲子小学校の児童も参加する芝川おど



りコンテスト、あまごのつかみ取り、稲子物産市が実施されています。物産市では梅ジュースや梅酒の試飲コーナーなどが用意されます。

『第38号 芝川地域のおまつりのひみつ』は、^{しりょう}次の資料を^{さんこう}参考にして作りました。

- 1 『むらのおと Vol.14 2017 夏』 ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合 2017.7.10
- 2 『かわのり8号 芭蕉天神宮と久我家』 遠藤房人 1968.8.3
- 3 『式千年記念 芭蕉天神宮由緒』 芭蕉天神宮社務所
- 4 『芝川町誌』 芝川町 1973.3.31
- 5 『岳南朝日 平成18年2月4日』 2006.2.4
- 6 『岳陽新聞 平成9年3月23日』 1997.3.23
- 7 『Face to Face Vol.186 2022 6月号』 星野新聞堂 2022.5.11
- 8 『岐阜市公式ホームページ』 岐阜市役所 2022
- 9 『第37回あづち信長まつり 武者揃え』 あづち信長まつり協議会 2021.12
- 10 『史跡 大鹿窪遺跡 保存管理計画』 静岡県 2011.3
- 11 『富士宮市ホームページ』 富士宮市 2021
- 12 『合併記念写真集 ふるさと芝川』 芝川町 2010.3

『ブックちゃんのふじのみや探検』第4号「織田信長のひみつ」、第19号「富士宮のお祭りのひみつ」があるから、それも参考にして読んでね。



©富士宮市さくやちゃん